

R2年度 中部教育事務所 指導の基本方針

“温かい学級”で子供たちが生き生きと学べる学校づくり

授業力

「主体的・対話的で深い学び」の視点を生かした子供主役の授業づくり

- 伸ばしたい資質・能力を明確にし、「目指す子供の姿」と「手立て」を具体化する。
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、子供にとって学ぶ必要感のある課題や自らの考えを広げたり深めたりする話合いの場の設定に留意し、単元や授業を構想する。
- 授業の「ねらい」に即して教師が子供の学習状況を丁寧に見取り、思考を促す指示・発問（問い返し、揺さぶり、考えや発言のつなぎ等）を行い、問題（課題）解決に導く。
- 学びを自覚し、次の学習への意欲を高めるための意図的・計画的な振り返りを行う。

学級力

「一人一人の居場所があり、認め、高め合う」“温かい学級”づくり

- がんばった過程を認め、励まし、学び合う等、共感的な人間関係を築く。
- 理解と受容に努め、一人一人の成長を促すよう、意図的・計画的に活躍できる場や活躍を紹介する場を設定し、自己有用感や自己存在感を高める。
- 各教科、学級活動等で、互いの考えを交流する中で、自分の考えを明確にする場を設定するなどして、自己決定力を高める。
- 「子供や保護者の気持ちに寄り添う」「指導すべきことはきちんと伝える」「言語環境を整える」を心がけ、子供や保護者から信頼されるモデルとなるよう努める。

組織力

子供たちをチームで育てる学校づくり

～校長のリーダーシップの下、全教職員でカリキュラム・マネジメントに取り組むことが大切です～

- 資質・能力の育成に向けて、教科横断的な視点で教育活動を見直す。
- 学校の教育課程の目標や内容を、地域と共通理解を図り、協働体制を構築していく。
- 学校の喫緊の課題や今日的な課題の解決に向けて、校内研修の工夫・改善を図る。
- 多忙化解消や時間外勤務の縮減に向け、必要な取組（年度途中での柔軟な分掌業務の見直し、学校が担うべき業務と保護者・地域からのサポートが必要な業務の整理等）を推進する。

学力向上

道徳教育

生徒指導

総合的な
学習の
時間

教育相談

キャリア
教育

特別活動

人権教育

特別支援
教育

体力向上

健康教育

安全教育

学校図書館
教育

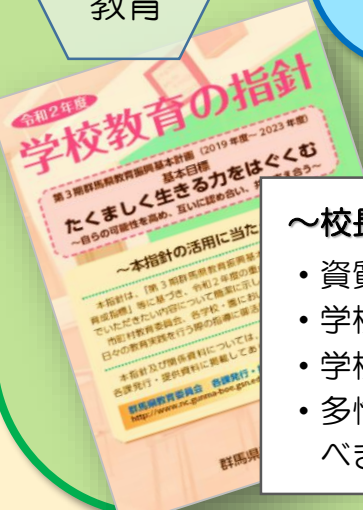
情報教育
プログラミング
教育

英語教育

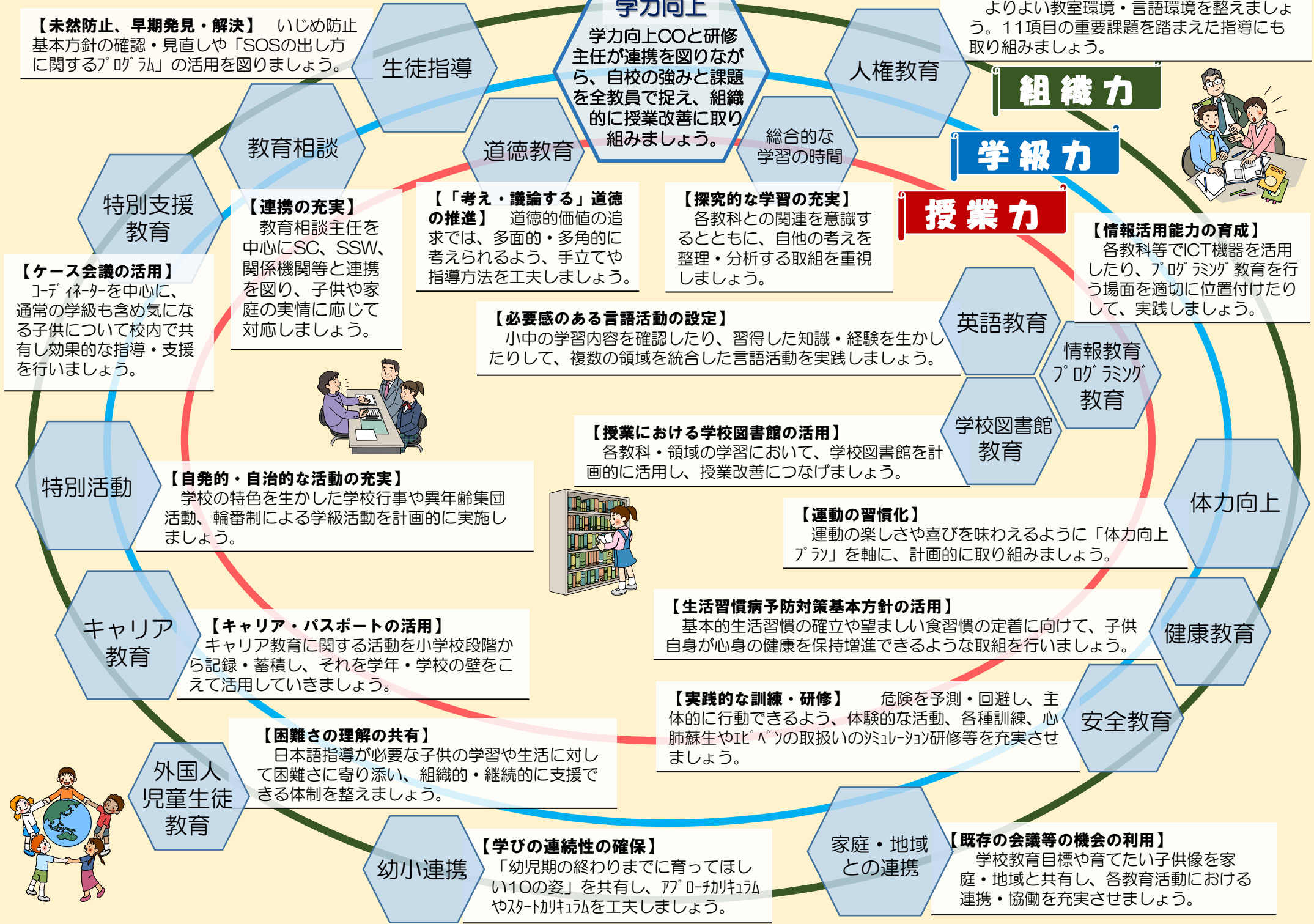
外国人
児童生徒
教育

家庭・地域
との連携

幼小連携



働き方の質・量を考えた教育活動の充実へ



学力向上

学力向上COと研修主任が連携を図りながら、自校の強みと課題を全教員で捉え、組織的に授業改善に取り組みましょう。

【常時指導の徹底】

よりよい教室環境・言語環境を整えましょう。11項目の重要課題を踏まえた指導にも取り組みましょう。

組織力



学級力

授業力

【情報活用能力の育成】 各教科等でICT機器を活用したり、プログラミング教育を行う場面を適切に位置付けたりして、実践しましょう。

英語教育

情報教育
プログラミング教育

学校図書館教育

体力向上

健康教育

安全教育

家庭・地域との連携

幼小連携

外国人児童生徒教育

キャリア教育

特別活動

特別支援教育

教育相談

生徒指導

道徳教育

総合的な学習の時間

人権教育

